

2012 輔仁大学日本語学科 国際学術シンポジウム『ミステリーの迷宮』

日 時 2012年11月17日(土) 09:20-17:15

主 催：輔仁大学日本語学科、進修部日本語学科、外語学院日本研究センター

共同主催：行政院国家科学委員会、輔仁大学研究發展処

場 所 輔仁大学済時楼9階(台湾・新北市新莊区中正路510號)

プログラム		
8:50-9:20	受付(済時楼9F)	
9:20-9:40	開会式(済時楼9Fホール)	
9:40-10:30	基調講演(済時楼9Fホール) 座長：頼振南(輔仁大学) 吉田司雄(工学院大学教授) 「ミステリーとアジア的想像力」	
10:30-12:00	第一セッション(済時楼9Fホール) 座長：陳明姿(台湾大学) 押野武志(北海道大学教授) 「ミステリーとハードボイルドのあいだ」 李美淑(ソウル大学校) 「韓国における推理叙事の今と昔—現代ドラマから古典テキストまで—」 陳國偉(中興大学助理教授) 「恐懼與記憶的對峙：當代台灣推理小說中的身體劃界與空間生產」	
12:00-13:10	昼食	
13:10-14:10	第二セッション 第一会場 座長：曾秋桂(淡江大学) 井上貴翔(北海道大学博士課程) 「技術と身体—佐藤春夫「指紋」試論」 横路明夫(輔仁大学副教授) 「最初期江戸川乱歩と夢野久作—後期クイーン的問題を手がかりに—」	第二セッション 第二会場 座長：楊錦昌(輔仁大学) 頼振南(輔仁大学教授) 「サスペンス小説としての『落窪物語』試論」 中村祥子(輔仁大学副教授) 「死者との邂逅：なぜ、誰が、死者と遭うのか—サスペンスとしての「物語」—」
	第三セッション 第一会場 座長：范淑文(台湾大学) 施嘉卉(輔仁大学大学院生) 「感覚機能の具象化—松本清張「声」における人間と音声の関わ	第三セッション 第二会場 座長：林雪星(東吳大学) 俞在真(高麗大学校准教授) 「植民地朝鮮の日本語探偵小説—金三圭「杭に立つたメス」を中心に—」

	りー」 楊翠(東華大学副教授) 「「發展」的迷思與反思 ——論水上勉《毒海怒濤》與西村 京太郎《汚染海域》中的環境正義」	横路啓子(輔仁大学副教授) 「植民地台湾探偵小説試論——福田昌 夫を中心に——」
15:10-15:30	休憩	
15:30-16:30	第四セッション 第一会場	第四セッション 第二会場
	座長：彭春陽(淡江大学) 坂元さおり(輔仁大学助理教授) 「戦争協力／反対」を越える方法 としての「桐野ミステリ」——林 芙美子モデル小説『ナニカアル』 を中心に—— 空井伸一(仙台高等専門学校准教 授) 「ミステリの円環／核の Vicious Circle—フクシマ以後に読む「海 のある奈良に死す」——」	座長：黄翠娥(輔仁大学) 張麗嫻(『独歩文化』企画・主編) 「台湾における東野圭吾の出版事情」 金儒農(中興大学博士課程、東海大学 講師) 「如何翻譯「不能說的秘密」：從敘述 性詭計看台灣推理小説中的日本輸入 視野」
16:30-17:00	座談会「ミステリーの行方」(済時楼 9F ホール)	
	座長：頼振南 吉田司雄先生・兪在真先生・陳國偉先生	
17:00-17:15	閉会式 頼振南主任挨拶	